

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

シーズ育成タイプ 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR194D
採 択 年 度	: 2019年度
分 野	: 第4分野
研究開発課題名	: xNAの構造解析と定量分析を可能にする分析プラットフォームの開発
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: 三井情報株式会社
研 究 責 任 者	: 中山 洋(理化学研究所)

評価結果の総合所見

本課題は、RNAの質量分析データ自動解釈法を技術シーズとして、人工核酸を含む任意の核酸(xNA)の構造や量を正確に分析できる「xNA解析プラットフォーム」を開発し、その実用化基盤を確立することが目的である。

目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。イノベーション創出が期待できる。

核酸の構造解析や定量分析における現在の課題を対象に、人工核酸も含めて分析対象核酸を当初計画よりもその種類を多くして、目標を達成したことは評価できる。また、研究の質は高く、その核酸分析技術に関する成果は今後の当該分野に一定以上の波及効果を及ぼすものとみる。

研究開発において、産学それぞれの役割を、それぞれの強みを効果的に活かして適切に進めていたと考える。

以上